

化学物質の総合管理

有害性のある化学物質の廃棄・排出による環境への影響が懸念されているなか、当社では、生産工程における化学物質の使用実態をPRTR*対象物質に加え、客先規制物質やVOC*に対しても把握し、環境負荷物質の使用全廃や排出量低減へ向けた取り組みを進めています。

PRTR (Pollutant Release and Transfer Register)

化学物質排出把握管理促進法(00年成立)。有害性のある物質をどのように使用しているか、また、環境に排出したり事業所外に運び出したりしたかを把握・集計・報告する仕組み。

VOC (Volatile Organic Compounds)

揮発性有機化合物。VOCとは、比較的低温で揮発し、大気中で気体状となる有機化合物の総称で、浮遊粒子状物質及び光化学オキシダントの原因とされている。

中長期目標

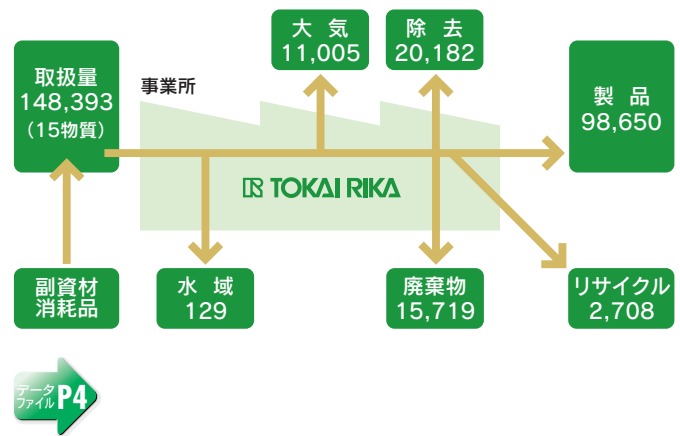
PRTR対象物質
総排出量
2010年度末00年度比

57%減

環境負荷物質の使用量全廃・排出量低減への取り組み

06年度のPRTR対象物質は、全12種類(のべ15種類)で、取扱量が148t、排出量が11.1tと前年度より減少しました。具体的には、製品設計での環境対応を含め、キシレン含有洗浄液の変更、キシレンやトルエンを使用しない基板防湿剤や水溶性塗料への変更、洗浄液や使用済塗料の回収の徹底、接着剤や水溶性薬剤のメーカー対応品の導入などの対応を進めました。あわせて、大気汚染防止法の改正に基づき、法対象外ですが、VOC対象物質の把握も行いました。06年度の使用量は大気汚染防止法での除外物質を除き128tとなっています。また、土壌・地下水汚染に関して、新たな汚染は確認されず、引き続き浄化活動を実施中です。

PRTR対象物質排出・移動量 ※単位はkg/年



	~'02	'03	'04	'05	'06	'07~
使用量・排出量の把握	データベース化		PRTR-WORLDシステムによる自動算出			
						愛知県条例への対応
	VOC対象物質調査					
使用量全廃・排出量低減活動	塗料の剥離溶剤の代替化(豊田工場)		工程内使用禁止物質の標準化			
	HCFC225の全廃化(エレクトロニクス洗浄工程)					
	キシレン・トルエン排出量低減					
	防湿剤の代替化					

活動事例

PRTR対象物質の低減

防湿剤や洗浄液の変更により、キシレンやトルエンの使用排出を低減しました。従来、トルエン含有の防湿剤本剤とキシレン含有の希釈剤を非含有剤へ、キシレン含有の洗浄液を別の薬剤へ変更しました。

